

Game Prep Report

Fighters Intelligence Lab(非公式・個人分析プロジェクト)

試合情報

対戦カード	ファイターズ vs 福岡ソフトバンクホークス
試合日	2026年7月16日(ホーム)
球場	エスコンフィールドHOKKAIDO
予想先発	伊藤(F) vs 未定(H)
データ更新日	2026年7月15日

Executive Summary

首位ソフトバンク3連戦は1勝1敗で最終戦へ。今季の対ソフトバンクは2勝11敗0分で、5カード目にして初のカード勝ち越しが懸かる。昨日は初回先制から主導権を握る理想の展開で7-6と競り勝ったが、2日連続で9回に3失点しており、終盤の締めが最大の不安材料。今日も先制・序盤加点の型を再現しつつ、9回のマネジメントを整えられるかが焦点になる。

Key Metrics

指標	数値	評価	補足
今カード成績	1勝1敗	Neutral	7/14● → 7/15○
対ソフトバンク	2勝11敗0分	Risk	今季カード勝ち越しなし
直近5試合勝敗	2勝3敗0分	Watch	7/10~7/15
先制時勝率	.681	Good	先制時 32勝15敗0分
9回の失点(直近2試合)	6点	Risk	2日連続で9回に3失点
平均得点(直近5)	3.8	Neutral	1試合あたり
万波 7月OPS	1.062	Good	打率.351と絶好調
相手中軸OPS	.997 / .912	Risk	近藤 / 栗原

Matchup Focus

Fighters	福岡ソフトバンクホークス
----------	--------------

打線状態: レイエス(OPS.959)に加え、万波が7月打率.351・OPS1.062と絶好調。昨日も序盤4イニング連続得点。	打線状態: 近藤(OPS.997)・栗原(25本)の中軸は昨日も9回の猛追を主導。最後まで気を抜けない。
先発投手状態: 未発表。中5日なら伊藤大海(防3.07)の登板が可能な日程。	先発投手状態: 未発表。
ブルペン状態: 7/14・7/15と2日連続で9回に3失点。リード時の9回の運用が課題。	チーム状態: 首位を維持。ただし対ファイトーズ連勝は昨日止まった(11勝2敗)。
最近の試合傾向: 直近5試合2勝3敗0分。先制時勝率.681で、昨日も先制からの逃げ切り。	最近の傾向: ピハインドでも終盤に集中打が出る。逆にリードを許した序盤～中盤は淡白な傾向。

Key Players

区分	選手	直近成績	ポイント
Fighters	万波中正外野手	7月 打率.351 / OPS1.062	6月の不振(OPS.575)から一転、7月は打撃全部門で急上昇。期待: 序盤の先制打。相手先発の立ち上がり攻略の中心。
Fighters	レイエス外野手	打率.320 / 20本 / OPS.959	シーズン通して安定した中軸。勝負を避けられても出塁が攻撃の起点になる。期待: 走者ありの場面での長打。
Fighters	柳川大晟投手	19S / 防御率2.40	2日連続で9回に失点が出ている流れを断ち切りたい守護神。期待: 9回を三者凡退で締めて連戦の疲労連鎖を止められるか。
Opponent	近藤健介外野手	打率.296 / 20本 / OPS.997	昨日の9回の猛追も中軸から。試合終盤ほど怖い打者。対策: 終盤、走者を置いて回さない。
Opponent	栗原陵矢内野手	25本 / 62打点 / OPS.912	本塁打はチームトップ。一発が試合を壊す。対策: 低め徹底。カウント有利でも甘い球は禁物。

Risk Factors

リスク	レベル	説明	対応仮説
9回の失点連鎖	High	7/14は同点の9回に勝ち越しを許して敗戦、7/15は7-3のリードを7-6まで詰められた。	9回開始時の点差と相手打順で継投を事前に決めておく。近藤・栗原に回る場合は左の島本の起用も選択肢。
対ソフトバンクのカード成績	Medium	今季4カードで勝ち越しなし(0-3, 0-2, 0-3, 1-2)。3連戦最終戦の勝敗が心理面に与える影響は大きい。	先制で相手の淡白な展開に持ち込む。昨日の成功体験をそのまま再現する。

デーゲーム3連戦の疲労	Low	3日連続13時開始。ブルペンは3連投のリスクを抱える。	中盤までに点差を作り、勝ちパターン以外で終盤を賄える展開が理想。
-------------	-----	-----------------------------	----------------------------------

Game Plan Hypothesis

昨日の勝ち筋の再現が基本線。相手先発の立ち上がりを攻めて先制し(先制時勝率.681)、中盤までに2点差以上を確保する。9回は点差に関係なく近藤・栗原に回る打順を意識した継投で、走者を置いた状態で中軸と勝負しない。カードを勝ち越せば、対ソフトバンクの心理的な壁を崩す今季最大の収穫になる。

Data Notes

使用データ: NPB公式サイト(npb.jp)の試合結果・個人成績、プロ野球Freakのインニングスコア、スポーツナビの月別成績を独自集計集計対象
期間: 2026年3月27日～7月15日(全88試合)注意事項: 本レポートは非公式の個人分析であり、球団・NPBとは関係ありません。先発投手は未発表のため未記載。